

科目名	中国語 1a A (遠隔授業)	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	佐藤 若菜		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-1-320227	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	発音、声調、ピンイン、文の構造など、中国語の基礎的なしくみを理解する。基本的な会話と読解の能力を身につける。高度な語学運用にむけて基礎を築く。口頭試験・リスニング試験・筆記試験、口頭発表とレポートを通して、反転授業を実施する。				
学修到達目標	中国語を話す、聴く、書く、読むための基礎力を身につける。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	第一課 声調／母音 第二課 前鼻音と後鼻音
第2回	第二・三課 子音
第3回	第四課 中国語特有のルール

第4回	口頭試験 リスニング試験 筆記試験
第5回	第五課 “是”の用法（基本語順・疑問文・否定文）／人称代名詞
第6回	第六課 形容詞述語文／主述述語文
第7回	第七課 “的”の用法／“?”を使った疑問文／二重目的語
第8回	第八課 選択疑問文／“多少”と“几”の疑問文／場所を表す指示代名詞
第9回	第九課 指示代詞／文末付加型疑問文／“?”の用法
第10回	第十課 復習（基本構文／疑問文の種類）
第11回	筆記試験 リスニング試験 口頭試験
第12回	第十一課 所有を表す“有”／助動詞“可以”／“太～了”
第13回	第十二課 存在を表す“有”／量詞／“的”が省略できる場合／動詞の重ね型

第14回	口頭試験 筆記試験 リスニング試験
第15回	口頭発表（自己紹介）
第16回	レポート

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。教書付属のCDを利用して、発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。
【復習】時間・内容	2時間。授業ノートを再読し、疑問点を辞書や文法書で調べる。

成績評価	
評価基準・方法	口頭試験・リスニング試験・筆記試験（60%）、口頭発表（20%）とレポート（20%）により評価する。
フィードバック方法	試験を採点して返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	『理香と王麗-話す中国語 1-』（董燕・遠藤光暁、朝日出版社）
受講上の留意点等	中日辞典（紙媒体ないし電子辞書）を必ず持参すること。本講義は、全ての回において遠隔授業を実施する。
JABEE	

科目名	中国語1a B (遠隔授業)	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	佐藤 若菜	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-1-320227	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	発音、声調、ピンイン、文の構造など、中国語の基礎的なしくみを理解する。基本的な会話と読解の能力を身につける。高度な語学運用にむけて基礎を築く。口頭試験・リスニング試験・筆記試験、口頭発表とレポートを通して、反転授業を実施する。				
学修到達目標	中国語を話す、聴く、書く、読むための基礎力を身につける。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	第一課 声調/母音 第二課 前鼻音と後鼻音
第2回	第二・三課 子音
第3回	第四課 中国語特有のルール

第4回	口頭試験 リスニング試験 筆記試験
第5回	第五課 “是”の用法（基本語順・疑問文・否定文）／人称代名詞
第6回	第六課 形容詞述語文／主述述語文
第7回	第七課 “的”の用法／“?”を使った疑問文／二重目的語
第8回	第八課 選択疑問文／“多少”と“几”の疑問文／場所を表す指示代名詞
第9回	第九課 指示代詞／文末付加型疑問文／“吧”の用法
第10回	第十課 復習（基本構文／疑問文の種類）
第11回	筆記試験 リスニング試験 口頭試験
第12回	第十一課 所有を表す“有”／助動詞“可以”／“太～了”
第13回	第十二課 存在を表す“有”／量詞／“的”が省略できる場合／動詞の重ね型

第14回	口頭試験 筆記試験 リスニング試験
第15回	口頭発表（自己紹介）
第16回	レポート

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。教書付属のCDを利用して、発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。
【復習】時間・内容	2時間。授業ノートを再読し、疑問点を辞書や文法書で調べる。

成績評価	
評価基準・方法	口頭試験・リスニング試験・筆記試験（60%）、口頭発表（20%）とレポート（20%）により評価する。
フィードバック方法	試験を採点して返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	『理香と王麗-話す中国語 1-』（董燕・遠藤光暁、朝日出版社）
受講上の留意点等	中日辞典（紙媒体ないし電子辞書）を必ず持参すること。本講義は、全ての回において遠隔授業を実施する。
JABEE	